

原稿募集要項

語学教育研究論叢第40号

語学教育研究所所長 丁 鋒
論叢編集委員長 小野寺 賢一

下記の通り原稿を募集します。奮って御執筆くださるようお願い致します。

内 容： 言語研究・語学教育に関する論文（書評、研究ノート、資料等も可とする）。
文学作品等を対象とする言語学・文献学等の方法を駆使した研究も含む。

資 格： 1. 本学外国語学部専任教員（客員教員、特任教員、助教を含む）
2. 本学外国語学部非常勤教員
3. 共同研究の場合は第一執筆者が該当者であること
4. 客員研究員、学外研究員
5. 本学大学院外国語学研究科博士課程後期課程に在籍の学生（推薦書が必要）
6. その他編集委員会が適格者として認めたもの（推薦書を必要とする場合もある）
※ 応募論文多数の場合は上記番号順に優先権を有する。

投稿申込： **2022年5月17日（火）から2022年7月12日（火）15：00迄（必着）**

「執筆申込書」をメールで添付送付すること。

To：語学教育研究所 daitogoken@gmail.com Cc：編集委員長 小野寺賢一 kenichi_onodera@ic.daito.ac.jp

所定の用紙： 執筆申込及び原稿提出の際に必要な以下の所定の書類は、語学教育研究所のHPに掲載する。
執筆申込書、原稿フォーマット、大東文化大学機関リポジトリ登録・公開許諾書、指導教員推薦書
語学教育研究所 HP <https://www.daito.ac.jp/research/laboratory/goken/>

原稿提出締切： **2022年9月16日（金）15：00迄（必着）**

原稿提出先： 語学教育研究所 daitogoken@gmail.com 宛にメールで添付送付すること。

メール送付できない場合は、レターパックライト（青）による郵送での提出も可とする。

その場合は紙版とともにCD-Rなどのデータファイルを同封すること。

大東文化大学 語学教育研究所 〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1 (Tel: 03-5399-7330)

原稿と一緒に提出するもの

(1)大東文化大学機関リポジトリ登録・公開許諾書

※手書き・押印必要のため、語学教育研究所宛に直接または郵送にて提出すること。

(2)指導教員の推薦書

※大学院後期課程の学生のみ、メール添付で提出、その際指導教員のアドレスをCcで入れること。

投稿規程： 1. 未発表の完成された原稿であること。
2. ワープロ原稿とする。横書き全角38字・35行、欧文の場合は半角70字・35行、それぞれA4用紙15枚以内とする（図版・レジュメを含む）。原則、HPの原稿フォーマットを使用のこと。指定ファイル以外の場合、フォント・サイズ等は原稿フォーマットのレイアウトと同様の設定をすること。1ページあたりの文字数・行数等の規定を遵守せず、最終的に15ページを超えてしまった場合は、掲載をお断りする。書式、表記など、甚だしい誤字脱字などがある場合、受け付けないことがある。
3. 本文以外の言語のレジュメを論文の前に付すこと。欧文のレジュメの場合もそれに準ずる。（日本語、中国語は400字以内、欧文は300語以内）また、キーワードを5語前後、列挙すること。（本文の言語による）
4. 論文の題目は日本語及び中国語原稿には欧文、欧文原稿には日本語を付記する。
5. 欧文タイトルの書式は、編集委員会に一任すること。
6. 印刷所等は語学教育研究所に一任すること。
7. 抜刷り贈呈は20部とする。増刷分は個人負担とし、執筆申込書に増刷部数を明記する。
8. 提出された原稿の審査による採否及び、ジャンルの特定は一切編集委員会に任せること。
9. 母語でない言語での論文については、題目、要旨も含めて必ずネイティブ・チェックを受けること。
10. 投稿時には謝辞、補助金、執筆者が特定される記述等を書かないこと。謝辞等については、掲載が決まり、査読後の修正原稿提出時に規定のページを超えない範囲で加筆してよい。

校 正： 著者による校正は二校までとし、紙での校正を原則とする。内容、ヘッダー及びページ番号など、関連付随事項に関して、著者の責任において校正のこと。各校正の提出期限までに未提出の場合は、掲載を見合わせる場合がある。新規加筆は認められない。

発行日： 2023年3月発行予定

問い合わせ先： 語学教育研究論叢 編集委員長 小野寺賢一 (E-mail: kenichi_onodera@ic.daito.ac.jp)

以上